

## 単元の実際

### ① 留学生と自己紹介をし合う活動（1回目の交流） 【手立てア】

- 留学生と初対面で自己紹介をし合う。
- 留学生から「附属新潟中学校の学校行事や学校生活を紹介してほしい」という依頼を受ける。
- 附属新潟中学校の学校行事や学校生活を即興的に述べる活動をする。



「留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活をよりよく紹介するためには、どのようにすればよいだろうか」という課題をもち、生徒は明確に目的意識をもちながら、見通しをもって必要な表現方法を身に付けていく。

1回目の交流を終え、プログレスカードの生徒の記述から

A エマワトリンとラ・ラ・ランドの話は乗って来て嬉しかった。  
雰囲気だけでも伝わって良かった。

A 実際に留学生と交流してみ、おざく会話をおのが難しかった。  
しつかりと質問に答えられる方がいい。

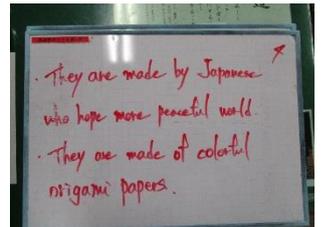
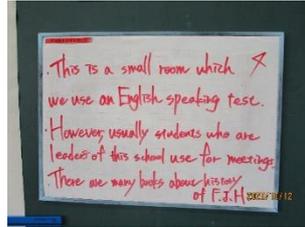
A 友達などで学校生活や行事を紹介するのは、難しいとは思って  
てもいろいろ質問に答えることが、とても嬉しい。

A 実際に留学生と交流してみ、おざく会話をおのが難しかった。  
しつかりと質問に答えられる方がいい。

生徒たちは初めての交流会を楽しんだ。留学生から依頼を受け、生徒たちは即興的に返答しようとしたが、伝えたい内容をうまく伝えられなかった。生徒は活動の難しさを実感したり、よりよい紹介がしたいという気持ちを強くしたりし、ゴールの活動に向けて、単元を通して必要な表現方法を身に付けていく必然性を感じている。

- ② 附属新潟中学校や日本の文化で特有のものを紹介する活動
  - ③ 附属新潟中学校の人物や、日本の有名な人物を紹介する活動
  - ④ 附属新潟中学校や新潟の有名なスポットを紹介する活動
- 【手立てイ】

- 関係代名詞（主格・目的格）の意味・用法を確認する。
- 附属新潟中学校や日本、新潟のもの・人物・スポットを留学生に説明するならば、どのような内容で説明するか考える。
- 班ごとにホワイトボードを用いて、英語で表現できなかったものを生徒同士が共有する活動を行う。



仲間の表現を共有したり、既習の言語材料を使った表現方法を協働して練り上げていったりすることで、表現の幅を広げていく。

②から④の活動を終え、プログレスカードの生徒の記述から

A かなり多く英作文ができたけれど、周りの人の意見もよく聞いて、よりよくなっていった。

A 今日は which や that をつかって物々説明し、他の人や他の班の意見はとても参考にしました。

A 大抵、関係代名詞に慣れてきた。中には英文と比べると、色とりどり、共有できた。次は今日で使った単語 = key words を使ってみよう。

仲間の表現を共有したり、既習の言語材料を使った表現方法を協働して練り上げていったりすることで、表現力が高まっていることを実感している。

A 仲間同士で何回か英作文をしたけれど、仲間同士にわかりやすく伝えるために、関係代名詞を上手に使うことが必要だと思った。

A とりのりの人とのゲームがたのしかったです。関係代名詞、便利です。

第一回の交流で自らの表現力の乏しさを実感していた生徒たちは、新出表現である関係代名詞の有用性を実感している。

- ⑥ 留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活の紹介内容を作成する活動
- ⑦ 紹介する内容や表現を仲間と協働して検討する活動

【手立てイ】



自分とは異なった紹介内容や表現に出会ったり、アドバイスを受けて自分の紹介内容や表現を改善したりすることで、協働的に表現力を高める

⑥から⑦の活動を終え、プログレスカードの生徒の記述から

A	仲間とアドバイスを共有して、改善点を見えてきました。かえってらべます。
---	-------------------------------------

A	他のグループの言葉や、同じグループの質問を共有して、先生の宿題を聞いたら、自分が話す内容に取り入れていきたい。
---	---

同じ行事を紹介する者同士で集まったり、同じ留学生を紹介する者同士で集まったりすることで、様々なアドバイスを交わした。紹介の内容や表現を共有し、吟味して、協働して練り上げた。

⑧ 留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活を紹介する活動（2回目の交流）【手立てア】

○ 留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活を紹介する活動



○ 留学生から疑問を問われる。

実際の質問

- 「（完歩大会）なぜそんなに長い距離を歩くの？歩くのが好きなの？」
- 「（体育祭）なぜ団体種目ばかりで個人種目がないの？」
- 「（生徒会）私の国にはそういう団体はない。もっと教えてほしい。」
- 「（合唱祭）勝ち負けはあるの？ではなぜ歌うの？」
- 「（演劇）クラブ活動なの？勝ち負けはつかないの？」
- 「（日常）髪は自由なの？」

2回目の交流を終え、プログレスカードの生徒の記述から

A	前回は「なんで？」って聞かれて困惑した。 そこも話したい
B	留学生に対して学校生活を紹介するなら、前回より、より対話的に 交流を行い、紹介していくべきである。それ、前回の構築
4時間目 A	留学生に自分が伝えたいことを伝えることができた。 しかし、質問にきちんと返すことができなかった。

自分の表現が伝わらなかったり、適切に応答できなかったりしたことを認識している。その理由が何にあるのかはまだ見つかっていない。よりよい紹介をするためにはどのようにすればよいか、「対話形式にした方がよい」など具体的な改善策を考えている。

⑨ 留学生に紹介する内容や表現を考え直す活動【手立てア】

- 2回目の交流を振り返り、仲間と共有し、新たな紹介を完成させる。



自分の考えが伝わらない理由が、自分たちの英語の表現方法だけではなく、相手の背景にある文化や価値観などにあることに気付く。



生徒は相手の背景にある文化や価値観を調べ直し、相手に必要な情報を入れたり表現方法を工夫したりしながら、新たな紹介を完成させる。

活動を終え、プログレスカードの生徒の記述から

A	「相手のQ1を返すのが」を 明SPLI=2子 又 幸か不幸か ことを知. 下. ころ返す=して. 又 文化を 共有する こと けれど 相手の こと 感じました.
A	日本と外国では、文化のちがいがから 相違のあたりまえが あたり前ではないことが 難しく かんじました。
A	文化の違い、という 表現 と思 った。 海外 に行 った 経験 も あり、 次回 は 紹介 したい。
A	相手の 人の 国 と かの 文化 を 知 った。 日本 と 外国 で 文化 が ちがう こと で お じ め ました
A	そもそも、団体行動を重視している日本の教育について、伝えなければいけないかなんかと思いました。勝負もない中、なぜ歩くのか、疑問に思われていました。だから、その辺についてきちんと語句をおさえて伝えたいです。
A	(単語がでなくて説明することができずか。)

A 目的や内容が想像を絶するほど大変なレベルでもトピックにも支障なく  
 出ており興味深い文化的な違い。また本質的な部分も考えさせられた。  
 ↓  
 言語を介さないで

生徒は自分の考えが伝わらない理由が、自分たちの英語の表現方法だけではなく、相手の背景にある文化や価値観などにあることに気付く。生徒は相手の背景にある文化や価値観を調べ直す必要性を感じている。第三回の交流では、相手への配慮を伴った、より深いコミュニケーションを目指す。

⑩ 附属新潟中学校の学校行事や学校生活を留学生に再度紹介する活動（3回目の交流）【手立てア】



## 成果と課題

### 授業について

#### 1 検証事項

本単元の手だて「相手のねらいや主張をとらえ、配慮したコミュニケーションを行う必要性のある、留学生との段階的な交流」〈ア〉と「ねらいに合わせてグループ編成を工夫したり、教具を効果的に用いたりして、協働的によりよい表現を追求する活動の組織」〈イ〉によって、外国語科における教科の本質を踏まえた生徒の姿を表出したかを検証する。

#### 2 本時のねらいと評価基準

##### (1) 本時のねらい

目的をもった段階的な交流（3回目）を設定することを通して、相手の興味や文化的背景の違いに配慮しながら発表の内容や伝え方を調整し、よりよい学校紹介をすることができる。

##### (2) 評価基準

###### ○ 評価の観点－思考・判断・表現

A	B
状況に応じて相手に必要な情報を加えたり表現方法を工夫したりし、相手の興味や背景となる文化の違いに配慮しながら、留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活を紹介することができる。	状況に応じて相手に必要な情報を加えたり表現方法を工夫したりしながら、留学生に附属新潟中学校の学校行事や学校生活を紹介することができる。

#### 3 生徒の事実とその分析

##### <事実① 1回目の紹介 10月15日(木)>

前回の交流までの抽出生徒の実態を記す。前回までに実際に抽出生徒が、相手の興味や背景となる文化の違いに配慮しながら、どこまで紹介できるようになっていたかを示す。前回の交流で抽出生徒が留学生と行った会話を書き起こした。

##### 【第二回交流会における抽出生徒Aの会話】

抽出生徒 A	留学生（ロシア出身）
I tell you about long distance walk event.  It is the event of waking along the sea. We can choose from 1 of 3 courses. It up to 42 kilometers and shortest course has 7 kilometers walking. We spend more time talking with my friend than	OK.

<p>usual, even talk about topics that we don't normally talk about. We walk and cheer up. It was very tired event. And the next day, we have a summer crisis and bad sun burns. But it has,, we can feel a ●×★ sense of accomplishment when it was over and everyone said it was fun. This picture is the finish. We took this picture.</p> <p>I think,, when we walk with my friend, ②<u>we talk with each other.</u></p> <p>We walk with our friend freely.</p> <p>Yes, we only walking.</p> <p>Yes, there is no prize.</p> <p>④<u>Talk with ourselves. It's the purpose of the event. I think.</u></p>	<p>In my country, we don't have this long day. I never see this type of event. Tell me, ①<u>why do you walk?</u></p> <p>Ah, did someone give you some present? Or your school give some present or not?</p> <p>It's just walk and walk. Nothing competition and present?</p> <p>There is no winning prize or anything?</p> <p>What is the main purpose like just the event walk walk walk? Any purpose? ③<u>Why this event is important for the all of the student?</u></p>
---	---

**【第二回交流会における抽出生徒Bの会話】**

PCの操作ミスにより、記録なし。交流当日のプログレスカードの記述からは、満足いくコミュニケーションではなかったことが伺える。

10/15	5時間目 交流②	A	任かいていない所が何かはよくに感える。 より理解してもらえよよくにしたい。
-------	-------------	---	--

**【第二回交流会における抽出生徒Cの会話】**

<p>抽出生徒 C</p> <p>I'm happy to meet you again.</p> <p>I will introduce you to sports day.</p> <p>This is third grade relay. We participate it. Our team won the relay. I was very happy. Next, we were cheering battle.</p> <p>We were cheering battle. This is me. We lost, but I was very fun. Sports day was very excited.</p> <p>OK. Thank you for listening.</p>	<p>留学生 (スリランカ出身)</p> <p>Yeah. Me too. I still see you.</p> <p>OK. Because I like sports.</p> <p>Sorry? Can you tell it again? Oh! Mmm.</p> <p>OK, exciting.</p> <p>My questions, uh, you showed two sports right? Relay and other sports. Both of them are group events. ⑤<u>Do you have individual events in the</u></p>
--	---

<p>???</p> <p>??! 何聞かされてるの? 他の競技言えばいいの? For example, 綱引きって何て言うの? Tug of rope? Tug of war?</p> <p>騎馬戦は・・・? (タイマーが鳴る) Sorry, my time is finished. ⑥ <u>I'll answer your question next week.</u></p>	<p><u>sports day?</u></p> <p><u>In Sri Lanka, in my country, there are group games and also individual games.</u> <u>In Japan, do you have individual games?</u></p> <p>I understood. I can understand.</p> <p>OK. Thank you for the explanation. I enjoyed your details.</p>
---	---

上記から、抽出生徒Aは留学生が母国と比べてしてきた質問(発話記録①, ③)の根底にあるものが、興味や背景となる文化の違いにあることには気づいておらず、「完歩大会の目的は友達と話すこと」と質問に正対していなかったり、「自分自身と話す」という不完全な解答をしたりしているという実態があった(発話記録②, ④)。抽出生徒Cは、留学生の質問(発話記録⑤)の individual の意味が分からず、適切でない応答をし、満足な応答ができなかった(発話記録⑥)。抽出生徒Bも、構想シートを見ると、相手の興味や背景となる文化の違いには配慮せずに、演劇の紹介を考えているという実態があった。

<事実② 本時授業 10月22日(木)>

【第三回交流会(本時)における抽出生徒Aの会話】

<p>抽出生徒A</p> <p>Hello.</p> <p>My name is Adachi.</p> <p>Yes, water game is very happy. Today at presentation of this interview. I wearing suit like costume. I will talk about "sandy beach complete walk". ⑦ <u>Is there a school event to walk in Russia?</u></p> <p>⑧ <u>Russia's school don't have event walk.</u></p> <p>Ah,hun. From Kakuda beach to the school, we walk 27 kilometer on the sandy beach and asphalt. We can choice 35 kilometer and forty second kilometer course. So it is very tiring event. But walking along the sea with friends is a lot of fun. (写真を見せながら) Walking sandy beach. (写真を見せながら) ⑨ <u>When I reach the goal, if, I feel accomplishment. So we walk to, walk to train our spirit and strength.</u> So it is finished. Do you have a question?</p>	<p>留学生(ロシア出身)</p> <p>Hello.</p> <p>It was your photo in water games.</p> <p>No, we don't have a walking day like in Japan.</p> <p>No.</p> <p>OK, thank you for the presentation. I have lesson and ah, what about, you said the, ah, during the walking day, you train our speed, do you need to</p>
--	--

<p>Ah,,, Please one more.</p> <p><u>⑩So we walk to train our spirit, mental, mental. OK?</u></p> <p>Oh.</p> <p>So, we have big backpack. We was in jelly, and many water. Yeah, yeah, yeah. So, and the lunch.</p> <p>Yeah.</p>	<p>walk fast? It's no sense how you reach your goal?</p> <p>You said that, during the walking day, you train your speed, speed, yes. Do you need to walk, with the speed, for example, fast speed? You need to go fast speed? It's no matter you can go slowly with your friends.</p> <p>OK. And also on the photo, I can see that you have a big backpacks. Yes, you are right, am I right? Behind your bag, it's big and what is in this backpack?</p> <p>Jelly for energy, right?</p> <p>So during your walk, you have some stations to have lunch, right?</p>
---	---

**【第三回交流会（本時）における抽出生徒Bの会話】**

<p>抽出生徒 B</p> <p>We will tell you about drama presentation. We cherish this school event in our school. <u>⑪ Because we can get unity and sense of accomplishment.</u> <u>⑫Do you have school events in your country?</u></p> <p><u>⑬What school event did you have?</u> Ah, yes.</p> <p>OK.</p> <p>Ah, OK. I understand. Drama presentation is one of the school events at my school. Stage lightings and stage acoustics are authentic. It's like a pro. Stage lightings, stage acoustics, styling, acting, all rules are down by the students. It's student-centered. <u>⑭ Are school events students-centered in your country?</u> Students-centered has 2 merits. First, we can be free. Second, the team spirits of the school can increased. This year, 40 people made the drama for about an hour. It was very hard. But the sense of accomplishment and rewarding was great. Thank you for listening.</p> <p>Well, school meeting, sports festival, drama presentation, chorus festival, あと、完歩ってなんというんだっけ, walking long??</p>	<p>留学生 (バングラデシュ出身)</p> <p>OK. OK. OK.</p> <p>Yes, I have.</p> <p>Ah, chorus festival, ah, music festival, not chorus. And we have drama class, music class, not drama festival. It's a drama class. Drama class. Yes. But we scored by university students, not for the school. Not daily school. It's for the university students.</p> <p>OK. OK. OK.</p> <p>Yes.</p> <p>OK.</p> <p>OK.</p> <p>How many school festivals do you have?</p> <p>Ah, five?</p>
--	---

<p>I like sports festival the best. Ah, and...</p> <p>Ah, I like drama presentation.</p> <p>えー， んーとー， I like to see other drama presentation and acting.</p> <p>Yes!</p> <p>Yes.</p> <p>I acted crazy girl.</p> <p>Maybe?</p> <p><u>⑮Importance of team spirit of the my class.</u></p>	<p>OK, which one do you like most? Which one?</p> <p>OK, what is the second one?</p> <p>OK, OK. Why do you like drama?</p> <p>OK. So do you like acting?</p> <p>OK. Did you acted before?</p> <p>Which role you play? Which character you play? Who is character you paly in drama?</p> <p>Oh, ho, ho, ho. Are you crazy girl?</p> <p>What did you learn from the drama presentation?</p>
---	---

**【第三回交流会（本時）における抽出生徒 C の会話】**

<p>抽出生徒 C</p> <p>Hello.</p> <p>Nice to meet you too.</p> <p>Continuing from the last time, I would like to introduce the sports day.</p> <p>First, the purpose of the sports day. <u>⑯ The purpose is for all students to experience the goodness of traditional events.</u></p> <p>For senior students, to demonstrate leadership of followership. And for new students, to become being a member of Niigata Fuzoku junior high school.</p> <p>Second, contests. For example, tug of war, a union dance, rolling big ball and so on. But union dance was cancelled due to the influence of corona virus.</p> <p><u>⑰I think rolling big ball isn't very familiar.</u></p> <p>Rolling big ball is as a group of 3 people. They run with rolling the ball. Go around the corn. Pass it to the next runner. Do it several times. And the team that finishes first time, ah wins.</p> <p>Thank you for listening.</p> <p>Ah...</p> <p>Ah, はい。 Ok, OK.</p>	<p>留学生（スリランカ出身）</p> <p>Hi, nice to meet you.</p> <p>OK.</p> <p>OK.</p> <p>OK.</p> <p>OK.</p> <p>Yes, yes. It's not familiar.</p> <p>OK. First group, right? First group who finishes wins.</p> <p>It seems fun. The game seems fun.</p> <p>OK. My question is ah, I asked this ah, last time I said, right? About a group event and individual event.</p> <p><u>⑱In Sri Lanka, in my country, half of the events are group events and half of the events are individual events.</u> Did you understand?</p> <p>Half of the events are individual events, like one person. Half of the events are like group event. In</p>
--	---

<p>Ah...</p> <p><u>⑳I think group work is very important for us.</u></p> <p>AH, yes, yes. Ah, yes.</p> <p>OK, thank you.</p>	<p>Japan, I haven't seen lots of individual events.</p> <p><u>⑲ Can you explain, what is the reason for not having lots of individual events?</u> And also why there is lots of group events.</p> <p>You think it is more important to do group work than doing like individual events, right?</p> <p>OK.</p> <p>Thank you for the explanation and you did really good job, and I understood a lot about the game. Thank you.</p>
--	---

<事実③ 単元の最後の振り返りシートから>

【抽出生徒Aの単元振り返りシート】

1回目と2回目を比べ、改良したところ(背景となる文化に配慮)

- 式服の理由を話し  
→ その日だけ式服だし、ロシアにはおそろくそういう文化はないから
- ロシアに歩くイベントはあるか? どう質問をした  
→ ロシアではそういうイベントがあるのか気になったから(なかった)
- 歩く理由(精神と体力をさるため)をあらかじめ話し  
→ 前回ラサさんに聞かれたから、あらかじめ話し

交流全体を通しての感想

3回通して、多くの引っかかりはあ、たか、全体的には又スムーズになったと思、楽しく、いい機械だと思、

1回目は、普通に好きなものを話し、質問できたり、質問にも返せたり。2回目はラサさんだったか、奥歩について話し、しゃべれたか課題も感じた。3回目は、気楽に歩きについて紹介できて、何も困らないで、楽しくトークしてよかった。生の外国人と話せて、とても楽しかった。

【抽出生徒Bの単元振り返りシート】

1回目と2回目を比べ、改良したところ(背景となる文化に配慮)

② 途中に質問をほこした。

① 私の学校では行事を大切にします。お母さんの国に行事はありますか?

Yes. → どの行事がありますか?

No. → 次の話へ進みます。

② (①でYes. (ドイツ)) 演劇は生徒主体でやります。お母さんの国の行事は生徒主体ですか?

Yes. → 次の話(生徒主体のイベントについて)

No.

交流全体を通しての感想

1回目はこちら側から一方的に話す形になってしまっていて、自分自身も相手にしっかり伝わっているか不安だったし、相手も8人分の話を聞いて聞くのはあんまり楽しくなかったと思う。その反省から2回目では、話の合間に質問をほこすことで相手を話に巻き込んで話をすることによって、お互いに安心して楽しく話をすることができた。こちらからも外国人に限らず、一方的に話すよりも会話をいっしょに話を進められると思う。

【抽出生徒Cの単元振り返りシート】

1回目と2回目を比べ、改良したところ(背景となる文化に配慮)

1回目は自分が今年への体音祭を控えての自分の感想を発表した。  
 → 2回目は体音祭という行事活動について詳しく発表した。(科目、目的など)  
 また、日本語が自分からでも英語では伝わりにくかったり、ゴダグランドで何かの可能性があるというところを見た後、科目について詳しく発表した。(大玉転がし)  
 ・体音祭をリレー目録を転がし、おかし、学校全体で様々な視点からの目録を  
 発表するところから → 1つ1つについて詳しく話そうと思った。

交流全体を通しての感想

今回、ゴダグランド交流を通して、ゴダグランドという文化を知ることができた。日本(横浜柳瀬中学校)の体音祭について発表するところから、交流を通して、ゴダグランドのシステムや体音祭について詳しく知ることができた。また自分が体音祭の質問を通して自分自身も体音祭について理解を深めることができた。ゴダグランドの「ゴダグランド大玉転がし」は、この時間にはまだ答えがわからないというところから、1つ1つについて、それ以外はまだまだまだわからないところがある。

<事実④ 抽出生徒以外の生徒の本単元を終えての感想>

【感想A】

それなりに会言ができると思っていたが、なんて言ったか、いつかやからない、  
こしがかかりあつた。それで、そのさしに思いつく単語を覚えておき、  
く理解できるようにメモすることができたのはよかつた。という  
また、「日本に来て最も驚いたことは、」という質問で、「雪を見たとき」と  
いう答えが返ってきたときは、日本以南の国との生活文化の違い  
を感じて面白かつた。

今回は、実際に外国人と交流して、すこし難しかったが、だんだんと進むにつれて、学んだことが多かつた。  
時に、相手に質問されたときに、しつかりと聞き、英語で返さなければならなく、最初は、とま  
どろしつかりが明かつたが、最後の交流会はしつかりと会話が成りついたので、よかつたと思う。  
また、相手の異文化にも興味をもつことができた。たくさんのお話を聞きました。  
留学生の方とも仲良くなつて、楽しい交流会だったなあと感じます。

発表をした後、留学生からの質問を受けるのが一番楽しかつた。  
全く聞いたことのない単語や、聞いたことがあつても意味が分からない  
単語で質問されたときは、少し緊張がするが、しかし、グループの人達と  
教え合つた後、何かが話をつづけることが、今回の交流を通してできる  
ようになったと思う。+ 留学はさかやまして、すこし助けをもらいます。(感謝の気持ち)

【感想B】

日本に当り、前回は生活文化の行中におき、外国の視点は非常に新鮮だとい  
例として、2回目の質問で「生活文化(音楽やスポーツ)とはどう違うか」という  
ことがあつた。その中の生活文化は2013年に「全員の専門部に所属する」という  
変更中であるが、生徒の本来的な言葉も他の学校に当りおなじではない。特に、現在の  
に当り、その中で、大変興味があつた。新聞部長として改められたこと、その  
には、その自己発表以外でも、相手の文化が日本と違うことへの意識を待ち、その丁寧な説明は、  
とくに素晴らしいと思つた。互いの理解の場を築く言語の壁を越えることは、実際に  
は、その育つ環境、生活場所におき、全く異なること、その中で、楽しむこと。

学校行事は今の私たちにしてみれば当たり前なのですが、それを海外の友  
行えるのは想像以上の難しいものであった。しかし、附帯日本、日本と  
海外では物事に対する考え方が全く異なること、これを超えようとする相手の国の  
ことを学んだり、自分の国の文化について教直したりすることを感じました。

自分の文化を説明し、他の文化を紹介するに際しては、その文化の質問が聞かれて、日本と  
口にする文化にはある部分も全然違うことが、これによって興味深かった。今回の交流では主に  
学校生活に限らず文化の違いを知ることが、普段の生活や食文化の違いによって  
よく知られている。思えば、口にする文化は異なる文化を理解することは、  
文化の「違い」を越えていく社会で必要となることについて考えさせられた。これは、  
文化の「違い」を越えていく社会で必要となることについて考えさせられた。これは、  
文化の「違い」を越えていく社会で必要となることについて考えさせられた。これは、

アについている感じは。

交流会を通じて、日本と留学生の地域が異なるという点には、これは「土の味」があることは  
7日目は、それは日本では毎日やるけれど、スリランカの1週間は7日しかないので  
知ったし、2日目は、私は朝からスリランカと日本の違いを「目的」的に説明しただけで、  
留学生は日本と文化の「差」という感想を持っていた。しかし、私はスリランカの大半の子どもが  
徒歩通学と朝の21時に始まる留学生は学校から遠くまで電車が通る、という点で、  
電車通学する生徒は日本でもスリランカでも同じように思っている。これは「A-スリランカ」  
情報以外の人にも知られた。これは「土の味」があることは、  
また、留学生はそれ以外の学校行事も「土の味」があることは、これは「土の味」  
また、留学生はそれ以外の学校行事も「土の味」があることは、これは「土の味」

<分析① 手だてアについて>

<手だてア>によって、授業者のねらいは、生徒が相手の興味や背景となる文化の違いに配慮しながら学校紹介ができるようになることにあった。

抽出生徒Aは第二回交流会では、自分の考えた行事説明を一方向的に話していたが、本時では留学生の母国にその行事があるのかを確認している（発話記録⑦、⑧）。また、第二回交流会の最後に行事の目的について尋ねられた時は、「仲間と話す」という本来の目的と違う説明をしていたり、「自分自身と話す」という不十分な説明をしていたりしたが、今回は「精神や（肉体の）強さを鍛える」というように改めて、詳しく説明している（発話記録⑨）。相手の聞き違い（spirit を speed）にも、mental と言い換えて、臨機応変に対応している（発話記録⑩）。

抽出生徒Bの別紙振り返りによると、前回の交流では一方的に話すだけだったため、相手が理解できているのか不安だったり、相手も聞くばかりで楽しくなかったりしたのではないかと考えていた。そこ

で、今回は相手を巻き込み、興味をもってもらうために発問を入れている（発話記録⑫，⑬）。達成感や団結力は前回の交流においても今回の交流においても、ともに説明していたが（発話記録⑪），今回は特に「生徒主体の行事」であることを加え強調している。相手の国の行事が「生徒主体かどうか」を尋ねるなど（発話記録⑭），相手の背景となる文化に配慮していることを見取ることができる。留学生とのやりとりの中で、最後には演劇で学んだことを即興的に説明することができた（発話記録⑮）。

抽出生徒Cは、前回の内容に加え、行事の目的を説明している（発話記録⑯）。前回の最後に聞かれた「個人競技はあるのか？」という質問には答えていないが、その代わりに綱引きや大玉送りといった団体競技の情報を追加し、相手にとってなじみがある競技かどうか尋ねた（発話記録⑰）。また、自ら文化の違いに触れたわけではないが、留学生が国同士の行事を比べる中で（発話記録⑱，⑲），個人競技が少ない理由を、「私たちにとって団体行動は大切だ」と即興的に説明することができた（発話記録⑳）。

抽出生徒以外の生徒の本単元を終えての感想Aから、生徒は相手の質問やそのときの状況に応じて考えや気持ち、情報を伝え合おうとしていた。また感想Bから、自分たちが当たり前と思っている日本の行事が、文化的背景の違う相手にとっては当たり前ではないことに生徒は気付いている。はじめは日本に住む自分たちの常識の中で学校行事を紹介していたが、自分の考えが思うように伝わらないことに気付く、その理由が自分たちの英語の表現方法だけではなく、相手の背景にある文化や価値観などにあることに気付いた。異なる考えを理解したり、言語や文化の壁を乗り越えたりすることの価値を実感している。この姿こそ、外国語科における教科の本質を踏まえた生徒の姿である。

以上の抽出生徒の発話記録と振り返りシートの記述から、手だてAについて、以下のように結論付ける。

## 結論

相手のねらいや主張をとらえ、配慮したコミュニケーションを行う必要性のある、留学生との段階的な交流を仕組むことで、外国語科における教科の本質を踏まえた生徒の姿が表出された。

## <分析② 手だてイについて>

<手だてイ>「ねらいに合わせてグループ編成を工夫したり、教具を効果的に用いたりして、協働的によりよい表現を追求する活動の組織」によって、授業者のねらいは、生徒の表現力を高めることにあった。

授業者は、留学生との交流会の前後に、同じ留学生に紹介する人ごとのグループやトピックごとのグループを編成し、紹介内容や表現方法を練り上げさせた。授業後のプログレスカードの記述を見ると、グループ編成を変えながら、紹介の内容や表現を共有し、吟味して、協働して練り上げることのよさも生徒は実感していた（p.11）。

単元の新出文法は関係代名詞であり、単元の中で関係代名詞を使って表現活動を行い、グループでホワイトボードを使い表現を共有してきた。各授業後のプログレスカードの記述を見ると、生徒は仲間の表現を共有したり、既習の言語材料を使った表現方法を協働して練り上げていったりすることで、表現力が高まっていることを実感していたり、新出表現である関係代名詞の有用性を実感していたりしている（p.10）。しかし、事実②の本時の発話記録を見ると、留学生との交流会の中で、抽出生徒A，B，

Cは関係代名詞を用いた説明を行っていない。

抽出生徒Aは、相手の聞き違い（spirit を speed）にも、mental と言い換えて、臨機応変に対応しており（発話記録⑩）、高い表現力を示しているが、手だてイが即興性を高めたとは言えない。

以上の抽出生徒の振り返り記述と発話記録から、手だてイについて、以下のように結論付ける。

### 結論

ねらいに合わせてグループ編成を工夫したり、教具を効果的に用いたりして、協働的によりよい表現を追求する活動を組織することは、生徒の表現力を高め外国語科における教科の本質を踏まえた生徒の姿が表出することにつながるとは言えない。手だてイは改善が必要である。

### <代案>

生徒たちは留学生との交流会より以前に、関係代名詞を用いて表現活動をしているときには、その有用性を実感していた。にもかかわらず、交流会では関係代名詞を用いた表現が出てこなかったのはなぜだろうか。

1つは状況設定に原因があると考えられる。生徒は、留学生に附属新潟中学校の学校紹介を行うという状況設定によって、手だてアについて結論付けたように、相手に配慮をしながら、異なる考えを理解したり、言語や文化の壁を乗り越えたりすることの価値を実感している。しかし学校紹介をするという状況で関係代名詞の有用性を感じられなかったのである。

それは、教科書内容との関連性がなかったことが原因としてあげられる。指導案の単元構想には、学習活動⑤「学校紹介のモデル文を読解する活動」とあり、教科書GET1・2・3を、附属新潟中学校の紹介に編集したモデル文を読み、学校紹介のイメージをふくらませる予定だったが、留学生とスケジュールを合わせる都合で、交流会前に扱うことができなかった。教科書内容と関連させれば、生徒は関係代名詞の有用性をもっと感じるべきであったり、関係代名詞を使用する場面をイメージすることができたりして、留学生との交流会で関係代名詞を使ったはずである。また授業者としてもタスクの状況設定と教科書内容をつなげる意識が低かった。授業者は単元の計画時に、「予想される紹介の具体」をイメージして指導案に載せ、それに沿って単元の活動を仕組んでいった。その「予想される紹介の具体」が教科書本文と共通している表現があまりなかったのである。授業者は生徒が単元末に行うタスクと、過程にある学習活動のリンクを、より強く意識する必要があった。上記のように教科書内容とつなげることもできるが、教科書単元にそった「自分の行きたい場所を紹介する活動」にすることも考えたい。

授業者は、関係代名詞を用いて、学習活動②「附属新潟中学校や日本の文化で特有のものを紹介する活動」③「附属新潟中学校の人物や、日本の有名な人物を紹介する活動」④「附属新潟中学校や新潟の有名なスポットを紹介する活動」を設定したが、各授業で3題と、生徒が表現を練習する回数が少なかったことも問題である。また附属新潟中学校の紹介を練習段階で多くし過ぎると、生徒が自立して表現を組み立てるときに豊かな表現を生み出さないのではないかと考え、附属新潟中学校以外のものを表現することが多かった。

手だてイの中に混在する活動を整理することも必要である。ホワイトボードを使って表現を共有する活動とグループ編成の工夫とを整理し、どちらがどのようにによりよい表現につながっているのかが明らかになっていなかった。学習活動②、③、④においてホワイトボードを使った共有は、関係代名詞の習

熟には有効であったが、学習活動②、③、④と、学習活動⑥の生徒が自立的に学校紹介の内容を考える活動との間に、もう1つ手だてが必要であったと考える。前出の教科書内容を編集したモデル文を読むことに加え、授業者が1つの学校行事を示して、学級全員で協同組立をすればよかったのではないかと示された学校行事について、1人1人が紹介文を書いてみる。その後クラス全員で、授業者の司会のもと協同して1つの紹介文を作り上げる。そうすることで前時までに習熟した関係代名詞を学校紹介のどの場面で使えるか、どのような構成がよいか、どのような内容がよいかを、共有することができる。それによってグループ活動で紹介内容や表現方法を練り上げる時の視点が生まれ、よりよい紹介文を追求したり表現力が高まったりすることにつながるのである。

以下に手だてイの代案を示す。

#### **代案**

- 手だてイの内容（ねらいに合わせてグループ編成を工夫と、教具を効果的に用いる）を、整理し、それぞれの目的や効果を明確にする。
- 生徒が発表内容を自立組立する前に、全員で学校行事紹介を協働組立する活動を組織する。